

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション  
コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 豊雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 武田 守征

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-3777-5101

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,616	△29.8	△164	—	△217	—	△242	—
21年3月期第3四半期	6,579	—	85	—	83	—	△98	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△20.24	—
21年3月期第3四半期	△8.22	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,602	4,475	36.5	293.23
21年3月期	10,096	4,808	37.7	318.38

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 3,508百万円 21年3月期 3,809百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	2.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130	△26.1	△270	—	△340	—	△550	—	△45.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 12,000,000株 | 21年3月期      | 12,000,000株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 36,366株     | 21年3月期      | 35,866株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 11,964,023株 | 21年3月期第3四半期 | 11,967,308株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社を取り巻く経営環境は、輸出や生産に若干の持ち直しが見られるものの、回復までにはほど遠く、依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは、お客様のニーズに応じた製品の見直し改良、営業体制や販売促進活動の強化、固定費削減や生産効率化の推進、設備投資の抑制等の施策に取り組んでおります。

このような状況のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,616百万円（前年同四半期比△1,963百万円、△29.8%減）となりました。売上高を部門別に見ますと、オートモティブ部門は1,346百万円（前年同四半期比△719百万円、△34.8%減）となりました。インダストリアル部門は2,665百万円（前年同四半期比△1,079百万円、△28.8%減）となりました。その他の部門は、サービス部品や修理売上などであり、売上高は603百万円（前年同四半期比△164百万円、△21.4%減）となりました。

利益面では、海外連結子会社は収益を確保しましたが、個別及び国内連結子会社は、㈱ヤマダプロダクツサービス1社を除いてはいずれも減収減益決算を余儀なくされました。特に個別の業績は、売上げの大幅な減少、工場の稼働率低下による採算の悪化、円高による為替差損の発生等により、収益の確保が出来ず、減収減益の主たる要因となりました。この結果、営業利益は△164百万円の損失（前年同四半期比△250百万円減）、経常利益は△217百万円の損失（前年同四半期比△301百万円減）、四半期純利益は△242百万円の損失（前年同四半期比△143百万円減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績は、日本における外部顧客に対する売上高は、前年同四半期比1,634百万円減少の3,189百万円、営業利益は前年同四半期比401百万円減少の△243百万円となりました。米国における外部顧客に対する売上高は、前年同四半期比248百万円減少の956百万円、営業利益は前年同四半期比54百万円減少の64百万円となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は、前年同四半期比80百万円減少の470百万円、営業利益は前年同四半期比23百万円減少の49百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間に占める海外売上高は、前年同四半期比602百万円減少の1,746百万円で、その割合は37.8%となり、そのうち北米売上高は前年同四半期比206百万円減少の823百万円、欧州売上高は前年同四半期比75百万円減少の461百万円、その他の売上高は前年同四半期比320百万円減少の461百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における連結総資産は、前連結会計年度末に比べ493百万円減少し9,602百万円となりました。流動資産の減少（△244百万円）の主な要因は、現金及び預金は増加（578百万円）しましたが、受取手形及び売掛金は減少（△214百万円）し、たな卸資産も減少（△541百万円）したことなどによります。固定資産の減少（△249百万円）の主な要因は、有形固定資産の減少（△205百万円）などであり、負債は、前連結会計年度末に比べ161百万円減少し5,126百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（△209百万円）などであり、この結果、純資産合計は前連結会計年度末比332百万円減少し4,475百万円となり、自己資本比率は36.5%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ602百万円増加し1,551百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは520百万円の純収入（前年同四半期は450百万円の純収入）となりました。主なマイナス要因は、税金等調整前当期純損失が205百万円となったこと、仕入債務の減少額167百万円などであり、主なプラス要因は、売上債権の減少額278百万円、たな卸資産の減少額509百万円などであり、

投資活動によるキャッシュ・フローは24百万円の純支出（前年同四半期は225百万円の純支出）となりました。主なプラス要因は、定期預金の払戻による収入115百万円であり、主なマイナス要因は、定期預金の預入による支出89百万円、有形固定資産の取得による支出52百万円などであり、

財務活動によるキャッシュ・フローは125百万円の純収入（前年同四半期は189百万円の純支出）となりました。この主な要因は、長短借入金の借入により779百万円の収入はありましたが、長短借入金の返済により578百万円支出したこと、社債の発行により300百万円の収入はありましたが、社債の償還により350百万円支出したこと、また、配当金の支払により24百万円を支出したこと等によります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内の需要はまだまだ足取りも重く、第4四半期においても急激な回復は見込めず、引き続き厳しい状況が続くものと思われま

す。固定費削減や生産効率化等の諸施策効果は徐々に始

まり、収益のマイナス傾向は減少しつつありますが、一方、繰延税金資産の取崩し等によるマイナス部分もありますので、平成21年11月10日に公表した平成22年3月期連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の変更はいたしません。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,651,183	1,073,088
受取手形及び売掛金	1,238,691	1,453,604
有価証券	50,640	50,587
商品及び製品	983,021	1,296,240
仕掛品	386,611	428,858
原材料及び貯蔵品	493,684	679,380
その他	143,211	211,597
貸倒引当金	△47,799	△49,517
流動資産合計	4,899,245	5,143,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,608,337	1,695,717
土地	1,609,790	1,611,446
その他(純額)	495,452	611,420
有形固定資産合計	3,713,581	3,918,584
無形固定資産	147,951	160,617
投資その他の資産	841,482	873,182
固定資産合計	4,703,014	4,952,384
資産合計	9,602,259	10,096,224
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,017	1,023,797
短期借入金	482,284	365,049
1年内償還予定の社債	600,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	287,678	293,411
未払法人税等	9,706	17,691
賞与引当金	23,788	122,081
その他	227,398	216,267
流動負債合計	2,444,873	2,988,298
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	1,107,230	1,028,380
退職給付引当金	652,009	645,343
役員退職慰労引当金	276,650	270,350
負ののれん	77,045	80,714
その他	269,075	274,959
固定負債合計	2,682,011	2,299,748
負債合計	5,126,885	5,288,046

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	56,750	56,750
利益剰余金	2,928,121	3,194,218
自己株式	△7,928	△7,887
株主資本合計	3,576,944	3,843,081
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,983	60,456
為替換算調整勘定	△110,811	△94,376
評価・換算差額等合計	△68,827	△33,919
少数株主持分	967,257	999,014
純資産合計	4,475,374	4,808,177
負債純資産合計	9,602,259	10,096,224

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,579,628	4,616,089
売上原価	4,279,403	2,960,941
売上総利益	2,300,224	1,655,147
販売費及び一般管理費	2,214,749	1,819,792
営業利益又は営業損失(△)	85,475	△164,644
営業外収益		
受取利息	1,408	1,163
受取配当金	11,166	6,697
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	48,231	—
不動産賃貸料	—	6,802
その他	18,080	4,693
営業外収益合計	82,555	23,025
営業外費用		
支払利息	47,467	42,129
売上割引	33,395	9,838
為替差損	—	22,513
その他	3,275	1,025
営業外費用合計	84,138	75,506
経常利益又は経常損失(△)	83,893	△217,125
特別利益		
前期損益修正益	—	8,561
固定資産売却益	1,081	—
投資有価証券売却益	128	—
貸倒引当金戻入額	4,569	974
国庫補助金	—	47,994
補助金収入	6,873	5,165
特別利益合計	12,653	62,695
特別損失		
固定資産処分損	1,456	293
投資有価証券評価損	16,896	—
その他	—	50,570
特別損失合計	18,352	50,863
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	78,193	△205,292
法人税、住民税及び事業税	75,640	27,543
法人税等還付税額	—	△7,653
法人税等調整額	79,718	48,504
法人税等合計	155,359	68,395
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21,239	△31,557
四半期純損失(△)	△98,405	△242,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	78,193	△205,292
減価償却費	319,855	230,691
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
投資有価証券評価損益(△は益)	16,896	—
受取利息及び受取配当金	△12,575	△7,860
支払利息	47,467	42,129
売上債権の増減額(△は増加)	571,695	278,794
たな卸資産の増減額(△は増加)	△347,169	509,817
仕入債務の増減額(△は減少)	179,895	△167,446
割引手形の増減額(△は減少)	△182,509	△70,000
その他	△100,471	△39,105
小計	567,608	568,058
利息及び配当金の受取額	12,575	7,860
利息の支払額	△45,084	△41,675
法人税等の支払額	△101,751	△57,212
法人税等の還付額	17,200	43,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	450,549	520,708
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△118,024	△89,624
定期預金の払戻による収入	109,555	115,930
有形固定資産の取得による支出	△214,602	△52,668
有形固定資産の売却による収入	3,683	37
投資有価証券の取得による支出	△970	△11,472
投資有価証券の売却による収入	372	—
その他	△5,585	12,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,570	△24,900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	432,975	379,779
短期借入金の返済による支出	△448,755	△259,246
長期借入れによる収入	92,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△198,657	△319,406
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	—	△350,000
配当金の支払額	△63,081	△24,886
少数株主への配当金の支払額	△3,000	—
その他	△1,168	△851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,687	125,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,345	△18,693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,054	602,504
現金及び現金同等物の期首残高	1,232,071	948,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,224,016	1,551,130



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社及び連結子会社は給油機器及びその関連製品の製造・販売を行っており、同一事業種類の売上高及び営業利益の金額がそれぞれ全セグメントの売上高及び営業利益の合計額の90%を超えており、他に開示の対象とすべきセグメントが存在しないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	オランダ (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,823,842	1,205,030	550,754	6,579,628	—	6,579,628
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,197,234	22,580	10,020	1,229,834	(1,229,834)	—
計	6,021,077	1,227,610	560,774	7,809,462	(1,229,834)	6,579,628
営業利益	157,367	119,014	73,268	349,650	(264,174)	85,475

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	オランダ (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,189,689	956,277	470,123	4,616,089	—	4,616,089
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	475,469	19,450	1,435	496,355	(496,355)	—
計	3,665,158	975,728	471,558	5,112,445	(496,355)	4,616,089
営業利益又は営業損失(△)	△243,805	64,855	49,568	△129,380	(35,263)	△164,644

(注) 国又は地域の区分の方法は、連結会社の所在する国別によります。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	欧州	その他	合計
海外売上高（千円）	1,030,687	537,322	781,841	2,349,852
連結売上高（千円）				6,579,628
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	15.6	8.2	11.9	35.7

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	その他	合計
海外売上高（千円）	823,989	461,439	461,567	1,746,996
連結売上高（千円）				4,616,089
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	17.8	10.0	10.0	37.8

（注） 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する国又は地域

1. 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によります。
2. 各区分に属する主な国又は地域……………北米　：米国、カナダ  
 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　欧州　：ドイツ、スペイン、フランス  
 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　その他：東南アジア他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。